

広島大学 起業家教育の取組

2021.9.1

広島大学・産学連携推進部
スタートアップ推進部門 准教授
牧野 恵美

自己紹介

牧野 恵美

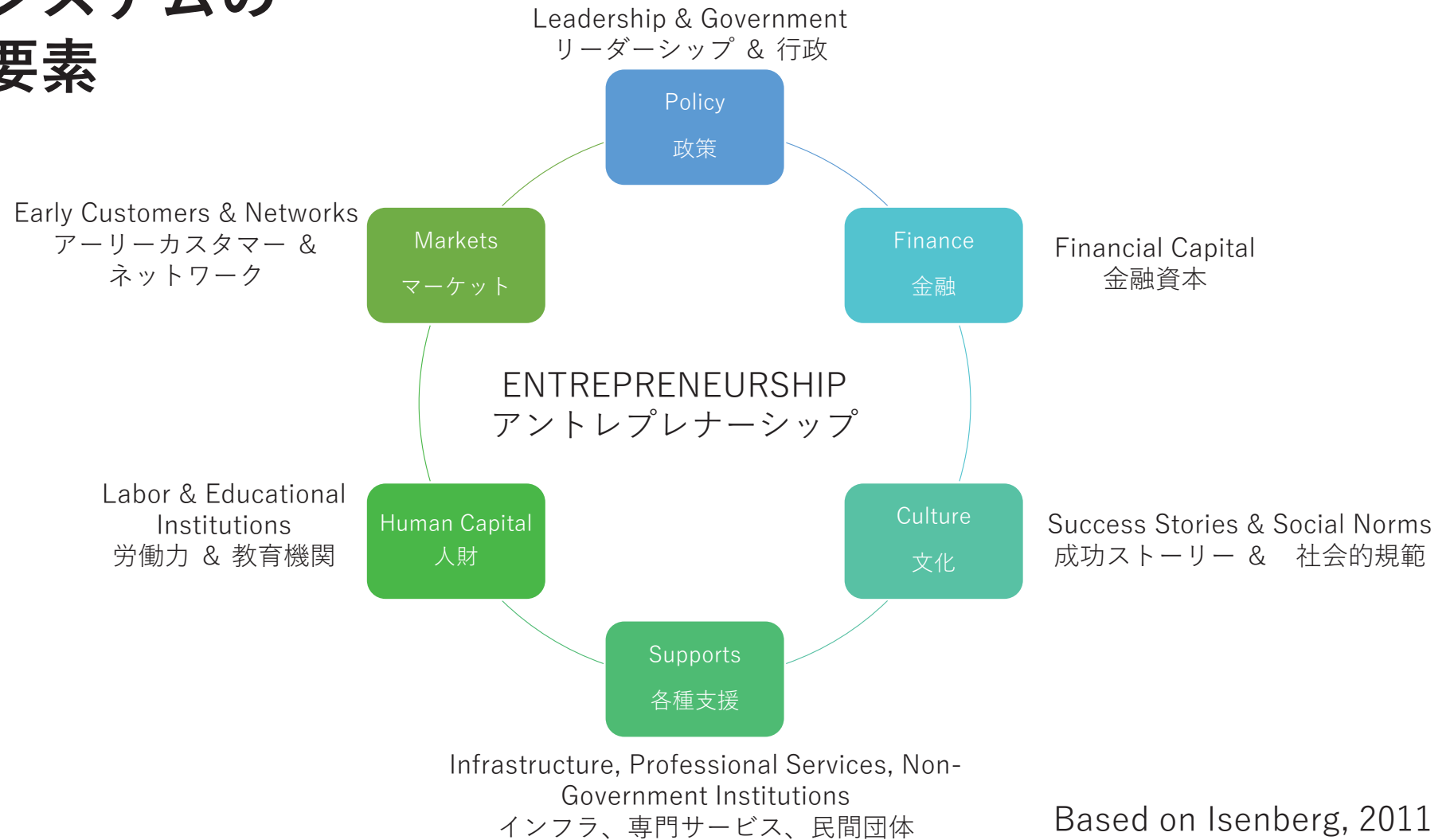


広島大学 産学連携推進部 **スタートアップ推進部門・准教授。**

日本経済新聞・米州総局の記者としてベンチャー企業と起業家を数多く取材。日系企業の米国現地法人で新規事業開発を経て、日経BP社発行の日経E-BIZの企画・編集などに携わる。子育てとの両立のため日英同時通訳者に転身後、クレアモント大学院大学にてMBA、PhD（経営学）。2013年より九州大学、東京理科大学にて主に起業家教育を担当。2019年より現職。

Academy of Management, United States Association for Small Business and Entrepreneurship (USASBE), 日本ベンチャー学会（理事）各会員

エコシステムの 構成要素



Based on Isenberg, 2011

広島県の現状と課題

- **ぜい弱なアントレプレナー教育とビジネス教育基盤**
 - 全学で体系的に教育している大学が少ない（事実上、広島のみ）
 - 事業化に直結する実践的な教育プログラムがほとんどない（広島県が中心）
 - ビジネススクールが弱い（事実上、県立広島のみ）
- **スタートアップ推進の環境が未整備**
 - 民間のアクセラレーション、インキュベーションプログラムが発展途上
 - プロトタイプ制作のメーカースペースやファブラボがない
 - シーズ提供できるリサーチ大学がほぼ広島大学のみ
 - メンターや経営者となる経営人財、起業家が少ない
 - ギャップファンド、プロジェクトファンドがない
- **アントレ教育への理解不足**
 - アントレ教育の必要性が大学内外で認められていない
 - 保護者から強い反発も

お金がない！

リスクキャピタルも教育予算も獲得できず
下手すると負のスパイラルに落ちかねない

- 広島大学は2018年以降、起業家教育の外部資金が途絶えた（現在、EDGE-NEXTの協力校のため予算的な措置はない）
- 広島県はスタートアップエコシステム拠点推進都市に採択されたものの、予算がつかなかった（SCORE環境整備も唯一不採択）
- 技術シーズを前提としたイノベーション型スタートアップに対する助成を獲得するには、ますます相対的に不利になる

最優先課題

アーリーステージの
活動量を増やすこと

広大起業家教育の系譜

VBL誕生

- 1995年にベンチャー・ビジネスラボラトリー（VBL）
- 「ベンチャービジネスに発展する独創的な研究と、ベンチャーを担う行動力と能力を持った大学院生の育成」

初期のアントレ教育

- 技術経営（MOT）やビジネス教育を中心とした科目の開設
- 「国際夏の学校」というグローバル教育
- インキュベーション事業

起業家教育を本格化

- 2014~2017年 文科省のEDGE事業に採択され、授業やプログラム等を企画・実施
- 2018年のEDGE-NEXTは協力機関のため、財源が途切れる

エコシステム形成へ

- 大学財源で教員ポスト+テクニカルスタッフ（事務系）
- 学部と大学院の教養科目、選択科目を整備
- 産学・自治体との連携を強化

入門・マインド醸成の科目

アントレ系（起業マインド）

- ・アントレプレナーシップ（学部）
- ・アントレプレナーシップ概論（修士）
- ・事業創造概論（日英・博士）

経営系（ビジネス基礎）

- ・ビジネスクリエーション（日英・学部）
- ・経営とアントレプレナーシップ（先進理工・日英・博士）
- ・MOT入門（日英・修士）
- ・MOTベンチャービジネス論（先進理工専門・修士）
- ・技術移転論（先進理工専門・修士）
- ・技術応用マネジメント概論（先進理工専門・博士）
- ・知的財産及び財務・会計論（日英・先進理工専門・修士）
- ・技術戦略論（日英・先進理工専門・修士）

応用・実践系

起業・スタートアップ系

- 事業創造演習（先進理工・修士）
- フィールドワークの技法（修士）
- 地域おこし実習（日英・学部・東広島市と共同実施）
- 国際夏の学校（英・単位なし・全学・国内外5大学連携）
- ひろしまアントレプレナーシッププログラム（日英・単位なし・全学共通）
- 起業部（ファーストペンギンクラブ）

ビジネス

- テクノロジー・マーケティング（英・学部単位あり・修士以上は単位なし）←九大と共同開講
- バイオデザイン I/II（医療・修士と社会人）
- イノベーション演習（日英・博士・HIRAKU事業から始まった科目）
- アイデア・マイニング（英・理系博士優先・ILDプログラム提供）
- *Shinonome*プレイグラウンド（単位なし・全学共通・外部プログラム・東広島市助成）
- ソーシャル・イノベーション・スクール（単位なし・社会人・学生奨学生・外部プログラム・広島県助成）

教育の特徴と課題

• 長所

- 基礎から実践まで一通り網羅できており、ある程度、体系化されている
- 英語科目やプログラムが比較的豊富で、留学生が受講しやすい
- 社会課題を発見し、解決するプログラムが充実
- **自治体、地域のステークホルダー、海外大学との連携が強い**
- **複数の文科省事業でアントレ教育を組み込んでいる**

• 課題

- **受講する学生が少ない**
- 学部生と院生が一緒に学べる共通科目が提供できない
- 理系学生に偏っている
- **実践系科目は用意されているが、「教育のための実践」であり「実践のための教育」がない**
- 学生プロジェクトを支援するしくみや制度が不十分

社会課題に挑み、地域に根差した Inclusive でSustainableな Entrepreneurshipに活路

ベンチャーの 類型

急成長型にとらわれな
いエコシステムの構築

急成長型
High growth

安定成長
Managed growth

ライフスタイル
Lifestyle

サバイバル
Survival

Morris et al 2016

挑戦者を増やす

- 食わず嫌いをなくす
- 誰一人取り残さない
- ウェルビーイングを重視
- アントレプレナーシップを通じて、積極的平和構築を実践する
- 手段
 - サイドプロジェクトや副業を活発にする
 - 「起業」を目標とせず、副産物としてスタートアップが生まれる

インクルーシブな起業家教育

1. リーチできていない人にすそ野を広げる extend reach

- マイノリティー（女性、留学生、LGBT、経済的弱者）、人文社会系、医療系など
- 起業のイメージチェンジ：自分らしい生き方を切り拓き、社会問題を解決する手段としてのアントレプレナーシップ

2. ひろしま・せとうち地域の強みに焦点 leverage strengths

- ものづくり、サステナビリティ（ソーシャル）、地域創生（地域愛）、グローバル
- 学生と企業と地域の力で、せとうちから世界を変える
- 各大学の良質な教育コンテンツを持ち寄る
- Common purposeにより学生、教職員、社会人の垣根を壊す

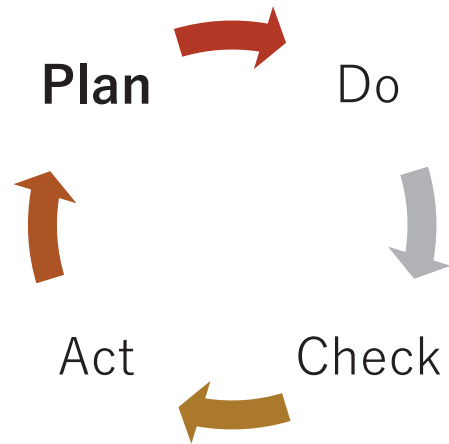
3. 起業マインド、“起業の型”、デジタルスキルが身につく教育 build new skills and capabilities

- ゲームチェンジャーに必要なスキルを教える
- 最先端を当たり前
 - デジタルで何かをつくる体験の場を増やし、ものづくりの敷居を下げる
 - モノやアプリに限らず、調理、建築、アート、医療、音楽、映像など幅広い領域のデジタル化を支援
- “起業の型”を徹底的に学び、学生発ベンチャーを創発する実践教育を新たに導入

広島大学
スタートアップ力
ENTREPRENEURSHIP

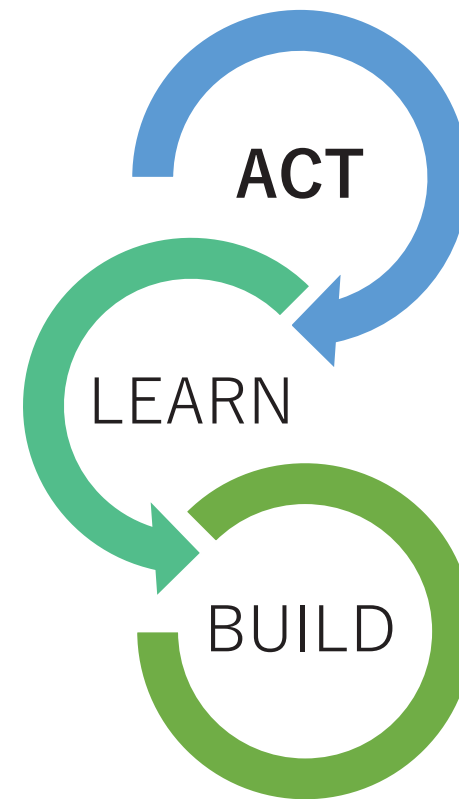
育てたい7つの力





安定した環境で有効だが、
不確実性の高い状況では
逆効果

マネジメントの行動様式



ACT

やってみる
できることから
失ってもいい範囲で

LEARN (ASK)

聞いてみる
頼んでみる
問いつづける（仮説検証）
失敗＝学び

BUILD (CO-CREATE)

人を巻き込む
いっしょにつくる
競争より共創

スタートアップの行動様式